

2024年3月25日

令和5年度学位記授与式学長告辞

九州工業大学長 三谷康範

本日、ここに令和5年度の学位記授与式を挙行することができました。本日、学位を取得された皆さん、おめでとうございます。九州工業大学の教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。また、この日まで卒業生・修了生を物心両面から支えてこられました保護者、ご家族の皆様にもお祝いと感謝の気持ちをお伝えいたします。本日、学位記を手になされ、研究に没頭した日々や、仲間と一緒に過ごした日常など、思い出されていることでしょうか。また、本日は、日ごろから学生の皆さんを支えてこられたご家族、先輩、友人、仲間の力添えと恩師の導きに、皆さんが改めて感謝する大切な機会でもあります。

皆さんは、4年前に発令された突然の緊急事態宣言を受け、出口が見えない中で大学生活を始められ、あるいは、楽しく過ごしていたキャンパスライフを突然奪われたのではないかと思います。生活様式の激変を乗り越えられた皆さんは、これからの人生での困難もきっと克服されることでしょうか。大切なことはこうした出来事を貴重な経験と捉えて、何事に対しても前向きに取り組むことができる姿勢です。これからの人生では、常識に囚われず、大学生活でのいろいろな出来事に対する経験を糧とし、たくさんのチャレンジを楽しみながら実行してください。

さて、皆さんの大学生活の中でのもっとも大きな変化として、私たちの生活の多くの場面においてAIが溶け込んできたことが挙げられます。皆さんもいろいろな機会でも生成AIを活用されたのではないのでしょうか。ChatGPTに代表される生成AIの普及がその最たるものだと言えるでしょう。一方で、生成AIが人間の能力を超える技術的特異点、いわゆるシンギュラリティが現実味を帯びてきました。その結果、人間の仕事の多くの部分がAIに奪われるのではとの懸念が広がっています。ここまで生成AIが進化してくると、今私がお話ししている告辞の内容もAIに作成してもらったのではないかと考えてもおかしくない時代が到来しています。

このような中、皆さんはAIに仕事を奪われないようにこれからどのように心がけていかねばならないのでしょうか？AIがほくそ笑んで見ているのはいわゆるマニュアル人間や指示待ち人間だと考えられます。これに対して、いわゆる人

間力として捉えられている、豊かな人的ネットワークと経験並びに行動力に基づき、何事にも好奇心を持って物事を考え抜いて課題発見や課題解決を行うことを常に心がける姿はAIでは代替できない能力だと思います。

幸いなことに、今日、九州工業大学を卒業・修了された皆さんは、様々な場面で社会課題の発見やそれらの解決を経験できる場面があったかと思います。本学では知識や経験をもとに物事を考え抜く機会を増やし、社会課題に挑戦できる環境を整えてきましたが、こうした環境を効果的に活用してきたことで、皆さんは習慣的にクリティカルシンキングを行う能力を身につけ、今後もたくさんのことを学び続けることができるようになっていくはずだと思います。大切なことは、この卒業が学ぶことに対する卒業であってはならないのです。これからも様々な機会を利用して学び続ける姿勢を持ち続けてください。

これからは環境問題、資源・エネルギー問題、国際紛争・分断、国際政治情勢など数々の極めて難しい制約条件が課された中での社会活動が強いられます。大きな困難を伴いますが、ピンチをチャンスに変えられる柔軟な発想と行動が勝負の分かれ目になるのです。本学で培った確かな技術力、倫理観、大学生活で関わった世界中の人々との絆、そして、グローバルコンピテンシーに裏打ちされた皆さんの若い力と行動力・突破力が遺憾無く発揮され、これからの日本社会を飛躍的に発展させ、その過程が世界を平穏な状態に戻す力強い復元力として作用し、世界の繁栄の原動力になることを楽しみにしております。

これから社会に巣立っていく皆さんにおいては、本学で身につけた能力を十二分に活かし、様々な困難を乗り越えていくことを確信していますが、色々な場面で行き詰まった時は是非今一度大学を頼ってみてください。これまでの信頼関係に基づく相談の場というだけでなく、連携の場としての役割に加えて学び直し場として九州工業大学は進化を続けていきます。私がかねてより、大学を若者だけを育てるための場所にしてはいけないと考えています。年齢、ジェンダー、国籍、民族などの多様な属性を持った人々が集まって、はじめてイノベーションが爆発的に発生するものであるからです。

最後になりますが、皆さんが、九州工業大学における多くの良き出会いを財産として、この変化に富んだ時代の中で、生活を楽しみ、多くの事を感じ、考え、学び続け、活躍されますことを祈念し、皆さんの栄えある門出を心から祝福申し上げ、告辞と致します。

本日は、誠におめでとうございます。